

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-142	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国総 360	高等学校 改訂版 国語総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法第2条ならびに高等学校学習指導要領に示された目標に準拠し、指導内容の十分な実現達成をはかり得る、基礎的な教科書として編修した。

2. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1. 古典や近現代のすぐれた文章に触れることによって、言語文化の伝統を理解し、豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。
2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。
3. 特に現代の文章や「表現の実践」においては、問題意識をもって取り組むことのできる教材を意識的に採録して、様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。
4. すべての学習の根幹といえる言語の教育としての国語科の立場を重視し、社会で求められる言語力を身につけさせるとともに、言語文化の理解と享受を通して、我が国の言語文化に親しむことができるよう配慮した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編	「評論キーパーソン一覧」として、現代の思想に影響を与えた主たる思想家・哲学者を示すことで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した(第1号)。 真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。 すぐれた詩や短歌、俳句を採録し、作品の鑑賞を通して、豊かな情操を養うことができるよう配慮した(第1号)。	前見返し p.10～14, p.15～21, p.22～34, p.36～45, p.84～92, p.94～103, p.104～112, p.144～150 p.62～63, p.64～65, p.66～67, p.68～71, p.120～125, p.126～131
	自主・自律、労働といった、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、職業観・勤労観を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第2号)。	p.66～67, p.78～83
	「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした(第2号)。	p.196～203
	科学技術の発展やグローバル化といった、現代社会を取り巻く諸問題に関わる題材を広く採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第3号)。	p.72～77, p.78～83, p.94～103, p.104～112, p.114～118, p.152～162, p.164～179, p.188～194
	生命、戦争など、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第4号)。	p.68～71, p.152～162, p.164～179

	<p>比較文化論・芸術論・言語論を積極的に採録し、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</p> <p>「評論のしるべ」「文学のしるべ」を適宜設定して、国内外の言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p.46～51, p.53～60, p.132～142, p.180～186</p> <p>p.35, p.52, p.61, p.93, p.113, p.119, p.143, p.151, p.163, p.187, p.195</p>
表現の実践	<p>スピーチやディベート、創作等の学習を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した。課題の内容についても、生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的としたものを多く取り入れた（第2号）。</p>	<p>p.204～226</p>
古文編	<p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p>	<p>p.262, p.263, p.264～265, p.266～267, p.268～269, p.272～273, p.274～275, p.276～278</p>
	<p>「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p>	<p>p.243, p.254～256, p.310～313</p>
	<p>古典における理念や社会秩序についての基本的な考え方に深く関わる題材を採録し、現代の社会や人間関係にも共通する問題として、生徒が考えを深められるようにした（第3号）。</p>	<p>p.230～231, p.234～235, p.238～240, p.241～243, p.246～247, p.248～250, p.251～253, p.280～281, p.282～284, p.285～286, p.314～316, p.317～318, p.319</p>
	<p>古代の戦乱を取り上げた題材を採録し、人間の感情の普遍性を読み取ることによって、生徒が倫理や道德の問題を現実的に即して考察できるよう配慮した（第4号）。</p> <p>生命や自然に深く関わる題材を採録し、表現を吟味する活動を通して、生命・自然を尊重する態度を養えるよう配慮した（第4号）。</p>	<p>p.288～289, p.290～297</p> <p>p.300～302, p.303～305, p.306～308, p.314～316, p.317～318, p.319</p>
	<p>「古文の学習」「古文を読むために」「古典のしるべ」等を適宜設定して、我が国の伝統的な言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p.228～229, p.232～233, p.236～237, p.244～245, p.257, p.258～261, p.270, p.271, p.279, p.287, p.298, p.299, p.309, p.320</p>
漢文編	<p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p>	<p>p.332～333, p.334～335, p.336～337, p.358～362</p>
	<p>「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p>	<p>p.338, p.356</p>
	<p>古典における理念や社会秩序についての基本的な考え方に深く関わる題材を採録し、生徒が現代の社会や人間関係にも共通する問題として考えを深めることができるようにした（第3号）。</p>	<p>p.340～341, p.342～343, p.344～346, p.350～351, p.352～353, p.364～366</p>
	<p>生命や自然に深く関わる題材を採録し、表現を吟味する活動を通して、生命・自然を尊重する態度を養えるよう配慮した（第4号）。</p>	<p>p.348～349</p>

	「漢文の学習」「訓読に親しむ」「漢文を読むために」「古典のしるべ」「漢詩のきまり」を適宜設定して、中国の伝統的な言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。	p.322～323, p.324, p.325, p.326, p.327, p.328, p.329, p.354～355
付録	「古典文学史年表」「文語・口語文法要覧」「中国文化史年表」「漢文重要語彙一覧」「漢文基本句形一覧」等を置き、言語を中心とする我が国や中国の伝統的な文化について紹介した。また、口絵には我が国の伝統的な住居・服装・調度・楽器等を示し、興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。	p.368～371, p.372～379, p.380～381, p.382～383, p.384～385, 口絵(巻末)p.9～13

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各編の各教材の最後に「学習」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の主題に対する理解を深め、自らの考えを的確に表現する能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-142	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国総 360	高等学校 改訂版 国語総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 単元構成、教材選定などにおいては、教育現場の意見・要望を尊重し、学習指導の実態に即応できるように考慮した。中学校の国語科との関連も配慮し、基礎的・基本的な事項を精選した。
2. 言語文化の理解と享受を通して、生徒が主体的・創造的な人間形成に進めるよう配慮した。
3. 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」に関しては、「表現の実践」でまとまった指導ができるようにし、さらに「言語活動」を通して、表現力を養い、互いに伝え合う力を高められるよう工夫した。
4. 「A 話すこと・聞くこと」の言語活動として、「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
 - ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。
p.204「資料に基づいて説明する」、p.206「スピーチをする」
 - イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。 p.224「調査をもとに報告する」
 - ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。
p.215「話し合いをする」、p.218「ディベートで討論する」
5. 「B 書くこと」の言語活動として、「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
 - ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。 p.210「創作をする」
 - イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。
p.208「説明文を書く」、p.221「意見を述べる」
 - ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。 p.212「手紙の書き方」
6. 「C 読むこと」に関しては、古典や近代の評価の定まった文章から教材を選定するとともに、現代の文章においては、社会的要請にも応え得るよう、広い視野から様々な文種を教材とし、有機的に組織した。加えて、現代文編には「評論キーパーソン一覧」を用意し、幅広い知識・思想に触れられるようにした。
7. 「C 読むこと」の言語活動として、「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
 - ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。
p.210「創作をする」、p.310「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」
 - イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取舍選択してまとめること。 p.196「情報探索の方法と実践」、p.243「『竹取物語』の求婚譚を調べる」、p.338「故事成語の由来と意味を調べる」
 - ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。
p.196「情報探索の方法と実践」
 - エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。
p.210「創作をする」、p.254「読み比べる・大和物語 - 沖つ白波」、p.310「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」、p.356「漢詩と訳詩を読み比べる」
8. 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に関して、他の指導領域との有機的な関連のうえに指導できるよう配慮した。
 - ア 伝統的な言語文化に関する事項……古文編・漢文編に「古典のしるべ」を設定し、「C 読むこと」の内容と関連づけながら、言語文化の伝統について解説した。また、コラム「古文を読むために」「漢文を読むために」を設定し、「C 読むこと」の内容に即して、文語や訓読のきまりを学べるようにした。漢文編では、本文中に現れた基本句形を、見開きページごとの脚注欄に整理した。巻末には「文語・口語文法要覧」「漢文重要語彙一覧」「漢文基本句形一覧」等を掲載した。
 - イ 言葉の特徴やきまりに関する事項……現代文編において、「C 読むこと」の内容と関連付けて、語彙や表現・表記等について理解を深める課題「言葉と表現」を用意した。また、本文中に現れた注意すべき語句（熟語・慣用語等）を、初出を原則に抽出し、見開きページごとの脚注欄に整理した。
 - ウ 漢字に関する事項……現代文編の「C 読むこと」の教材中にあらわれる常用漢字のうち、小学校で学習したもの以外の漢字を、初出を原則に抽出し、「新出漢字」として整理した。巻末には「常用漢字表・付表」を掲載した。
9. 「内容の取扱い」のウ「読書指導」へ対応するため、現代文編では各教材の最後に、採録した教材の原典紹介を用意した。また、現代文編には「評論のしるべ」「文学のしるべ」を置き、教材の主題に関連する内容を扱った著作を紹介することで、「C 読むこと」の指導に即して読書の幅を広げることができるようにした。

図書の構成・内容 箇所(ページ)		学習指導要領 の内容																									
		「間」の感覚	評論のしるし⑤	自分の身体	評論のしるし⑥	坡の崎⑦	文学のしるし③	空き缶	デザインの本意	評論のしるし④	グローバリスの「遠近感」	評論のしるし⑧	情報探索の方法と実践	①資料に基づいて説明する	②スピーチをする	③説明文を書く	④創作をする	⑤手紙の書き方	⑥話し合いをする	⑦ダイアログで討論する	⑧意見を述べる	⑨調査をもとに報告する	古文の学習	児のそら寝	古文を読むために1	絵仏師良秀	
A 話すこと(聞く)	指導事項	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ				○		○			○		○	○	○	○			○	○					○		○
		エ											○	○	○	○					○	○					
B 書くこと	言語活動例	ア	○	○				○					○	○	○	○				○	○						
		イ										○	○	○	○	○					○	○					
		ウ					○		○		○							○		○	○				○		○
		エ					○		○			○	○	○	○	○					○	○					
C 読むこと	指導事項	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ				○		○		○		○				○								○		○	○
		エ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	言語活動例	ア															○										
		イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○
		ウ											○														
		エ															○										
伝統的な語彙文化(国語の特質に関する事項)	ア	ウ		○																				○		○	○
		イ	ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ	ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ	ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
配当時数			2		2		2		2		2		2	4	4	6	6	6	4	4	6	6	0.5	0.5	0.5	0.5	

